

**～植林事業とCO₂排出権ビジネスによる～
熱帯雨林再生プロジェクト事例**

熱帯雨林再生 P J 概要

陸地のわずか7%にすぎないアマゾンや東南アジアの熱帯雨林
ここは、「地球の肺」と呼ばれ、私たち人類と地球の「生命」にか
かわる大切な「森」=「生命の森」なのである。

熱帯雨林は、地球上の酸素の50%以上を作り、地球上の生物
種の半数が存在していると考えられている。

今、ここでは、違法伐採や焼畑による山火事などにより、多くの
熱帯雨林が失われ、世界のCO2排出量の約20%が増加し、
生物種の減少が極めて深刻な状況となっている。

この緑豊かな地球を未来の子供たちへ残すため、地球上で一番
大切な場所の一つである熱帯雨林の再生事業を推進する。

事業概要

➤ 植林事業(製紙パルプ生産)

インドネシア・カリマンタン島で製紙パルプ生産を国営森林開発公社へ委託
国有地5万ヘクタール内にアカシア等の種苗を植林し、成木になるまでの管理・育成、伐採、そして、製紙メーカーへの製紙パルプの販売

➤ CO2排出権事業

製紙パルプの原材料生産時、樹木の成長過程で吸収される二酸化炭素を
CO2排出権認証取得し、カーボンオフセット事業者へ販売

**植林事業 & CO2排出権ビジネス収益で
熱帯雨林再生プロジェクトの推進**

事業の特徴

1. 地球上で木の成長が一番良い熱帯雨林で木材資源生産

- (1) 高騰する木材資源の確保
- (2) 事業投資を数10分の1に圧縮(1口3億円~)
- (3) 公正証書による収穫量の完全保証

2. 木材資源生産からCO2排出権を獲得し、排出権販売事業

- (1) 成長領域への早期参入で市場確保
- (2) 低価格提供による競争優位性の確保(対市場価格の30%)
- (3) 植林起源によるCO2排出権認証確実(次期京都議定から)

3. 地球上で一番大切な場所の一つである熱帯雨林再生事業

- (1) 熱帯雨林再生による地球温暖化防止と生物多様性保護

4. 投資リスク完全保証

- (1) インドネシア国営企業による経営で倒産リスク回避
- (2) 海外投資保険による災害・政変、騒乱等を回避
- (3) 資産価値に準じた保障(海外投資保険)で利益確保

木材資源生産

他生産植林事業は、現地との合併会社の設立による事業運営が主流であり、一般的にその投資額は、数10億円もの投資が必要である。

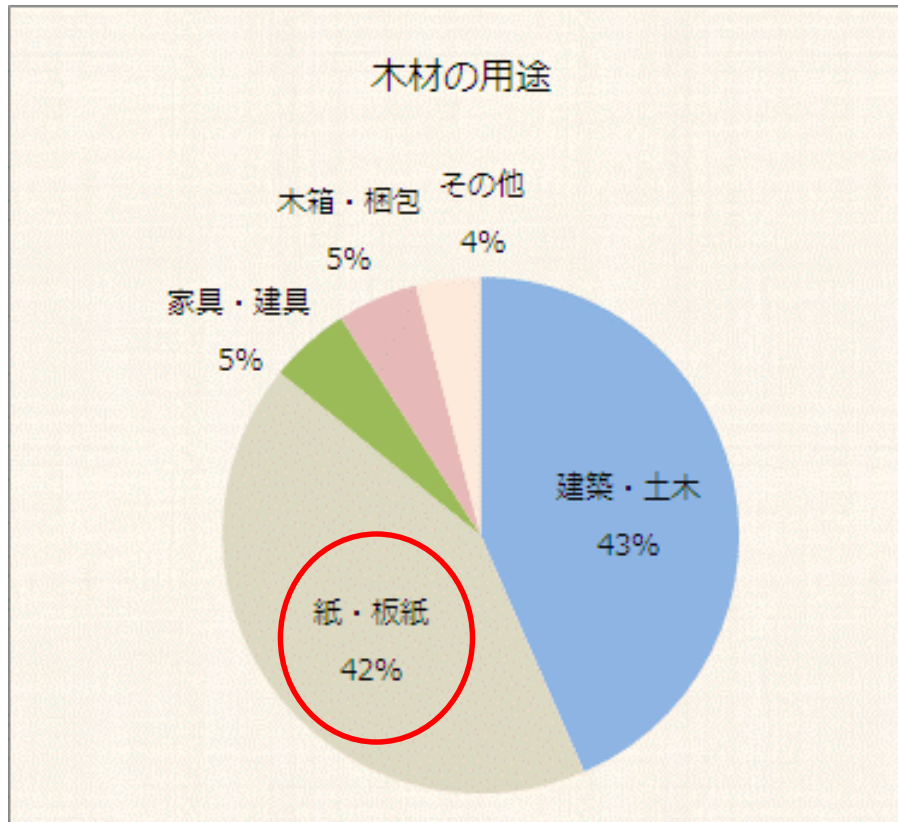
今回、弊社ではインドネシア国営森林開発公社より植林事業投資権利を取得し、1億円からの植林投資が可能となり、更には、木材収穫量保証付きで取引ができる。

その他インドネシアにおける政変、騒乱、災害等のリスクヘッジとして、独立行政法人日本貿易保険(海外投資額95%補償)付与

この様な好条件での木材資源生産は、他に類を見ないものである。

製紙パルプ市場

世界的に紙の原料となるパルプ材は需要量が増加しており、世界中で製紙会社は産業植林を行っているが、今天然林からの伐採を国単位で禁止しているため、今後のパルプ供給量は不足してくる。



CO2 排出権市場

日本におけるカーボンオフセットビジネス統計はない。
世界銀行及び米国調査会社の市場調査を参考とする

世界のVER市場及び京都メカニズムクレジット市場の推移

年度	世界のVER 市場		(参考) 京都メカニズムクレジット市場	
	取引量 (百万トン CO2)	取引額 (百万US\$)	取引量 (百万トン CO2)	取引額 (百万US\$)
2005	6.0	44	約360	約2,700
2006	23.7	91	約500	約5,400

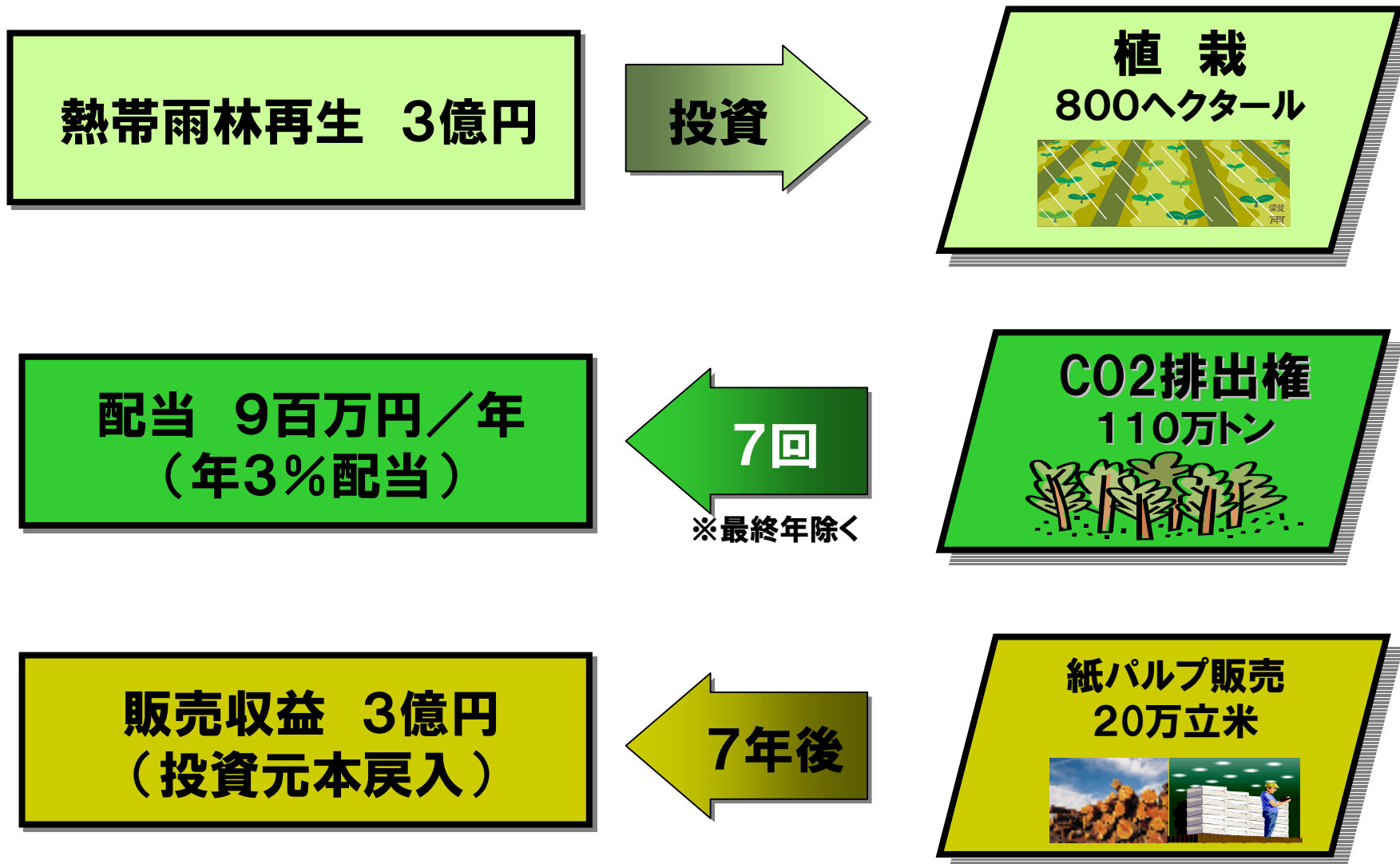
出展: Ecosystem Marketplace, State of the Voluntary Carbon Markets 2007: Picking Up Steam, p.6 Table1、State and Trend of the CarbonMarket 2007, p20 Table3)

今後も市場の拡大は進むと予想

2010年には約400百万トンCO2の取引量に拡大

すなわち2005年の京都メカニズムクレジット市場を超えると予測

投資と収益モデル



事業化スケジュール

ステップ1

ステップ2

ステップ3

投資

植林

排出権販売

VER認証手続き

オフセットプロモーション

販売チャネル開発

国営森林開発公社

- 100%政府所有企業（1975年11月12日設立）
- ジャワ島以外の森林開発を担当
- カリマンタン島では13万haを所有（内10万5千ha植林済）
（Balikpapanから南西138kmに位置する）
- 持続可能な森林経営と天然林の保護、林産物の生産販売
- 地域経済の発展と雇用の創出による地域住民の利益確保

総資産：3,510億ルピア（47億円）
売上高：1,535億ルピア（20億円）
事業内容：育苗／植林／伐採／加工
生産品目：丸太／建材／フローリング材
モルディング／製紙パルプ

世界の熱帯雨林

